

## 防災訓練（要素訓練）結果報告の概要【濃縮事業部】

### 1. 訓練の目的

本訓練は、六フッ化ウラン漏えい事象に対する対策活動に係る能力の習得・向上を目的とする。

### 2. 実施日

2014年11月27日（木）～2015年2月16日（月）  
（訓練ごとの実施日は、「添付資料」参照。）

### 3. 実施場所

ウラン濃縮工場

### 4. 実施体制、評価体制および参加人数

#### （1）実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

#### （2）評価体制

定められた手順書等に基づき、対策活動が実施できるかを実施責任者が評価する。

#### （3）参加人数

「添付資料」のとおり。

### 5. 原子力災害想定の概要

液化中の均質槽の故障により、六フッ化ウランが管理区域内および管理区域外（屋外）へ漏えいすることを想定する。

また、事象の発生に伴い、負傷者の発生を想定する。

### 6. 防災訓練の項目

要素訓練

### 7. 防災訓練の内容

- （1）通報訓練
- （2）救護訓練
- （3）モニタリング訓練
- （4）避難誘導訓練
- （5）設備応急訓練

### 8. 訓練結果の概要

#### （1）通報訓練

- ① 原災法に基づく所定の様式を用いて通報文を作成した。

② 通報文のFAX送付先および電話連絡先の確認、全社対策本部との連携方法の確認、発生した事象の情報収集・整理を行った。

(2) 救護訓練

発生した負傷者に対して、身体汚染検査を行った。

(3) モニタリング訓練

① サーベイメーター、ガス検知器を使用し、屋内外の放射線・フッ化水素の測定を行った。

② 屋内の対策活動に使用するチェンジングルームの設営を行った。

(4) 避難誘導訓練

① 避難誘導員を現場へ配置し、避難誘導、出入管理システム等と避難者との照合による点呼確認、監視カメラによる不明者および負傷者の有無の確認を行った。

② 必要な安全装備（防護服、防護マスク等）を装着し、負傷者を救出した。

(5) 設備応急訓練

① 応急措置に必要な資機材を準備するとともに、安全装備の装着を行った。

② 六フッ化ウランの漏えい拡大を防止するため、建屋扉（屋外）、2号発回均質室シャッターおよび扉（屋内）をビニールシート等で養生を行った。

9. 訓練の評価

六フッ化ウラン漏えい対処、負傷者救助について、手順書どおり実施できることを確認した。訓練ごとの実施結果および今後に向けた改善点は添付資料のとおり。

以上

〈添付資料〉

要素訓練の概要

## 要素訓練の概要

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(1) 通報訓練	2015/2/16	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	7名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の進展に応じて、通報文を適切に作成することができた。</li> <li>FAX送付先および電話連絡先の確認、全社対策本部との連携方法について確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班員全員が全ての役割を実施出来るように、班内の役割分担を変更して訓練を行い、班全体の技量向上を図る。</li> </ul>
(2) 救護訓練	2015/2/16	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	20名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者の身体汚染検査を適切に実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>
(3) モニタリング訓練	2015/2/16	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	20名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内外の放射線サーベイ、フッ化水素濃度測定を適切に実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ手順書の見直しを行うとともに、繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>
	2015/1/23	同上	13名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェンジングルームに設営に関する手順について確認し、適切に設営することができた。</li> </ul>	
	2015/2/3	同上	9名 (当社社員)		
	2015/2/4	同上	13名 (当社社員)		

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(4) 避難誘導訓練	2014/11/27	①総務班長 ②総務班員	6名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに避難誘導員を現場へ派遣し、避難誘導、点呼確認等を行うとともに、迅速に負傷者を救出することができた。</li> <li>・負傷者の引渡方法(放射線管理班、救護班との連携方法)を確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ手順書の見直しを行うとともに、繰り返し訓練を行い、習熟度を高めていく。</li> <li>・必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>
	2014/12/4	同上	6名 (当社社員)		
	2015/2/12	同上	21名 (当社社員)		
(5) 設備応急訓練	2015/2/12	①設備応急班長 ②設備応急班員、 放射線管理班員	25名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資機材の準備、安全装備の装着を確実に実施できた。</li> <li>・六フッ化ウランの漏えい対処を確実に実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班員全員が全ての役割を実施出来るように、班内の役割分担を変更して訓練を行い、班全体の技量向上を図る。</li> <li>・必要に応じ関連する班と合同にて訓練を行い、連携を強めていく。</li> </ul>